

#### Red Hat Enterprise Linux(以下RHELと呼ぶ)

本サーバは、Red Hat Enterprise Linux 認定ハードウェアとして Certified Hardware に登録されています。  
Certified Hardwareとして登録されているRed Hat社のURLは下記になります。  
<https://access.redhat.com/ecosystem/hardware/3330431>

#### CentOS

対象装置ではCentOSのインストール確認のみ実施しています。

Red Hat Enterprise Linux 認定ハードウェアとして認証されている構成  
以下の構成でCertified Hardware に登録されています。

#### ソフトウェア構成

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| Redhat Enterprise Linux 7 Server | RHEL7.3は下記のカーネルバージョンにて認証を取得しています。本カーネルバージョン以降をご使用ください。<br>kernel-3.10.0-514.6.1.el7.x86_64<br>RHEL7.4はカーネルバージョンに制限はありません。 |
|----------------------------------|---|

#### ハードウェア構成 (詳細はハードウェア製品情報を参照してください。)

|            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| BIOSブートモード | UEFIモード                          |
| RAIDカード    | HW RAID (SW RAIDでの動作確認は実施していません) |

#### 注意/制限事項

RHEL7/CentOS7を使用するための注意/制限事項は以下の通りです。

- オンボードのRAIDコントローラについて  
オンボードのRAIDコントローラは使用できません。オンボードのRAIDコントローラを無効にする設定方法は、ユーザーズガイドを参照してください。
- hpwdt 0000:01:00.0: This server does not have an iLO2+ ASIC. が表示される件について  
RHEL7.3のインストールメディアに含まれるカーネルパッケージkernel-3.10.0-514.el7では、iLO5 FWを非サポートなためHW障害を監視できません。kernel-3.10.0-514.6.1.el7 でサポートされていますので、kernel-3.10.0-514.6.1.el7 以降へアップデートしてください。
- hpilo 0000:01:00.2: Open could not dequeue a packet が表示される件について  
RHEL7.3のインストールメディアに含まれるカーネルパッケージkernel-3.10.0-514.el7では、iLO5のウォッチドッグデバイスドライバに不具合があります。kernel-3.10.0-514.6.1.el7 で修正されていますので、kernel-3.10.0-514.6.1.el7 以降へアップデートしてください。
- 1024 x 768 以上の解像度が表示されない件について  
RHEL7.3のインストールメディアに含まれるカーネルパッケージkernel-3.10.0-514.el7では、マネージメントコントローラチップ(iLO5)内蔵のVGAコントローラが非サポートです。Red Hat社よりERRATAが発行されていますのでERRATAの適応をお<https://access.redhat.com/errata/RHEA-2017:1730>
- サーバー管理について  
サーバーを管理する場合には、ESMPRO/ServerAgentServiceをインストールし、ESMPRO/ServerManggerでサーバーの状態を監視する事を推奨致します。  
※CentOSではESMPRO/ServerAgentServiceをサポートしていません。サーバ監視は自己責任で実施してください。
- RAIDの障害監視に関して  
RAIDシステムやRAIDコントローラの障害監視や管理をされる場合には、Linux用RAID Report Serviceをご利用ください。  
RAID Report Serviceを使うことにより、RAIDの障害情報がsyslogに記録されるようになります。  
[http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl\\_id=1831](http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl_id=1831)  
※CentOSではRAID Report Serviceをサポートしていませんので注意してください。
- 障害発生時のログ採取に関して  
障害発生時、RHEL標準のログ採取ツールsosreportとLinux用の装置情報収集ツールの両方のツールにてログ採取を実施してください。Linux用の装置情報収集ツールは下記のダウンロードサイトからダウンロードできます。  
[http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl\\_id=1830](http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl_id=1830)  
※CentOSでは装置情報収集ツールをサポートしていませんので注意してください。
- USBデバイスについて  
コンピューターの立ち上げやシャットダウンを行う場合には、USB機器を外してください。USB機器を装着したままで、コンピューターの立ち上げやシャットダウンを行うと、途中で停止することがあります。
- 各Linuxのインストール  
RHEL7、及び、CentOS7をインストールする場合は、各インストール手順書を参考にインストールを実施してください。  
各OSのインストール手順書は下記のサイトからダウンロード可能です。  
- RHEL7用インストール手順書  
[http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl\\_id=1833](http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl_id=1833)  
- CentOS7用インストール手順書  
[http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl\\_id=1832](http://magnia.toshiba-dme.co.jp/download/?action=DispInfo&dl_id=1832)